



振動応用技術で、世界を開く

スーパー 取扱説明書



ES-550 / ES-770A

★お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

エクセン株式会社

○ ま え が き

このたびはスーパーをお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

この製品の性能を十分に理解して適切な取り扱いと点検整備を行い、いつまでも安全に効率よく使用されるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

この製品を第三者へ貸し出す場合は、製品の安全性について十分に説明し、取扱説明書も同時に貸し出してください。

この製品に関してご不明な点がございましたら、販売店または最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

も く じ

○ ま え が き	1
○ はじめに	2
○ 安全注意事項	2
○ 消耗部品の交換時期	7
○ 各部の名称	8
○ 操 作	10
○ スーパーを使う	12
○ 運 搬	18
○ ハンドルの取りはずしと保管	19
○ 保守および注意	22
○ 仕様・製品寸法	25
○ トラブルシューティング	26

○ はじめに

1. 1 シンボルマークについて

-  **危 険**：死亡または重傷を負う可能性のある切迫した危険な状況を示す表示
-  **警 告**：死亡または重傷を負う可能性のある危険な状況を示す表示
-  **注 意**：軽傷または中程度の障害を負う可能性のある危険な状況を示す表示
- 注)**：効率的で円滑な動作のための情報と同様に役に立つヒントおよび推奨事項。

1. 2 技術改良

製品の仕様など予告なく変更される場合があります。

そのため、ご購入時の取扱説明書と内容や仕様が異なる場合がございます。

○ 安全注意事項

この製品は商用目的での利用を想定しています。例えば、ホテル、学校、病院、工場。

また、舗装道路の汚れ、落ち葉、草、紙などを清掃するために設計されています。

清掃以外の目的には使用しないでください。

事故を未然に防ぐため、ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全注意事項」をよくお読みの上、正しく使用してください。

2. 1 一般的な安全上の注意事項

- ・作業場は十分明るくしてください。暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- ・ご使用前に作業場所や周囲状況を確認して使用してください。ちらかった場所や暗い場所での作業は、思わぬ事故の原因になります。
- ・可燃性、爆発性のものや有毒物、液体、溶剤がある所で使用しないでください。
- ・爆発の可能性がある環境で使用しないでください。
- ・子供や作業員以外の第三者を作業場に近づけないでください。
注意力が散漫になり思わぬ事故の原因になります。
- ・油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- ・この製品を操作する人は、十分な休息をとり、健康状態が良好でなければなりません。
- ・健康上の理由で激しい作業ができない人は、この製品を使用する前にかかりつけの医師に相談してください。
- ・疲労や病気などで体調が悪い場合や、アルコールまたは医薬品を飲んでいるとき、妊娠している方はこの製品を使用しないでください。事故やけがの原因となります。

- ・無理な姿勢で操作をしないでください。
- ・きちんとした服装で作業してください。
- ・身体よりも大きすぎる服装やネックレスなど装身具は、着用しないでください。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ・すべり止めのついた履物の使用をおすすめします。
- ・防じんマスク・安全手袋・保護メガネを着用してください。



- ・分解・修理・改造をしないでください。
- ・純正部品や付属品以外の部品を使用しないでください。
- ・落下または衝撃を与えたことにより破損や亀裂・変形がないことを確認してください。
事故やけがの原因となります。
- ・作業前に破損した部品がないか点検してください。
- ・この製品を輸送手段として使用しないでください。
- ・安全規制や基準、条例に遵守してください。
- ・騒音を発する製品の使用が、国や地域の規則により規制されている場合があります。
- ・以下のようなものは回収しないでください。
 - 灯油・ガソリン・溶剤（ペンジン、シンナーなど）
 - 発火性があるもの（ライター）、火のついたもの（タバコやマッチ）。
 - 可燃性、爆発性のものや有毒性
 - ロープやひも状のゴミ
 - 動物などの排泄物、吐しゃ物
- ・以下のような場所では使用しないでください。
 - 砂地、砂利道、雪道、水たまり、泥地、その他凸凹地
- ・不適切な使用によって生じた損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ユーザーは、関連するリスクについて自ら責任を負うものとします。

2.2 運搬の手順

注)

- ・ダストケースのハンドルを持って、運ばないでください。
- ・車で運搬する場合、転倒防止のため適切に固定してください。

2.3 運転に関して

- ・使用目的を守ってご使用ください。
- ・ハンドルは乾いた状態で、きれいに保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- ・この製品の上に乗ったり、移動手段として使用しないでください。
- ・備えつけのダストケースがない状態で、操作しないでください。
- ・回転中のブラシに絶対手を入れないでください。
- ・走行中、絶対手を入れないでください。
- ・操作する場合、周りに子供がいないか注意してください。
- ・ぬれた路面で使用する場合は、滑らないように注意してください。スロープまたは斜面では滑る危険性があります。
- ・運転中、棚や足場にスqueeperが衝突しないようにしてください。物が倒れたり、落下する危険性があります。
- ・疲労を溜めないように、適度に休息を入れてください。
- ・円形ブラシやブラシロールにゴミなどが詰まっている場合は、詰まりを取り除いてください。
ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。
- ・スqueeperが負荷を受けた場合（衝突や落下など）操作に差し支えないか確認してください。
- ・破損や亀裂、変形したスqueeperを使用しないでください。
- ・スqueeperは1人で操作するよう設計されています。

爆発の危険性

爆発の危険性がある場所では、火花や粉じん、蒸気に引火し、爆発を引き起こす可能性があります。

- ・爆発の危険がある場所で絶対に使用しないでください。
- ・可燃性の液体（蒸気）、ガスの近くでは、絶対にスqueeperを使用しないでください。

注)

- ・落ち葉を回収する場合は、スイーパーの前方を持ち上げて、ゴミを一時的にダストケースの後方に移動させることで、さらに落ち葉を回収することができます。
- ・両手でハンドルを操作してください。
- ・スイーパーを前に押しながら、状況に応じた速度で使用してください。
- ・スイーパーは、ハンドルを軽く押し下げるだけで2～3cmの段差を乗り越えることができます。
- ・障害物（歩道の縁石など）にスイーパーを押し付けると、損傷する恐れがあります。
- ・清掃能力が低下した場合、ダストボックスがいっぱいになっていないか、円形ブラシとブラシロールの間にゴミが詰まっていないか、ブラシが摩耗していないか確認してください。



注 意

- ・操作する上で著しい変化（動きが鈍い、異常音など）があった場合、作業を中断して原因を調査してください。
- ・スイーパーを雨ざらしにしないでください。

2.4 ダストケースに関して

注)

- ・ゴミが回収できない場合は、ダストケースの容量がいっぱいです。
- ・作業を継続する場合は、スイーパーの前方を持ち上げてください。
ゴミが一時的にダストケースの後方に移動させることで、より多くのゴミを回収することができます。

2.5 スイーパーの掃除

注)

- ・蓄積したゴミやブラシロールの取り付け金具の後ろに巻き付いたロープやひも状のゴミなどは、スイーパーの動きを悪くし、本来の機能を損なう可能性があります。
- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。



注 意

不適切な清掃によるスイーパーの損傷。

- ・清掃を行うためにグリス除去剤を使用しないでください。
- ・強力な洗浄剤は使用しないでください。
- ・高圧洗浄機を使用しないでください。部品を損傷する恐れがあります。
- ・湿らせた布などでプラスチックの部品をふいてください。
- ・ロールブラシやサイドブラシを圧縮空気で清掃しないでください。ブラシを損傷することがあります。

2.6 作業終了時

注)

- ・使用後はゴミを捨ててから保管してください。
- ・ほこりが舞い上がらないように、可能であれば屋外でダストケースのゴミを捨ててください。
ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。

2.7 保管に関する指示

- ・ハンドルが不意に倒れる恐れがあるので、ハンドルの継手部分（ハンドルホルダーとハウジングの間）に手を入れないでください。
- ・スイーパーを保管する場合は、安全な場所に保管してください。
- ・スイーパーを無断で使用されないように、厳重に保管してください。
- ・スイーパーが落下したり、ハンドルが倒れたりしないように固定してください。

注)

- ・屋根のある場所で安全に保管してください。
- ・直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ・火気やファンヒーター・ストーブ、その他の放熱設備などの熱源の近くに保管しないでください。

2.8 メンテナンスと修理

注)

- ・スイーパーを定期的にメンテナンスしてください。

注 意

不適切なメンテナンスによるスイーパーへの損傷。

- ・修理やオーバーホールについては、最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

2.9 廃 棄

注 意

- ・環境負荷物質の不適切な取り扱い（特に交換部品の不適切な廃棄）は、環境に相当なダメージを与える可能性があります。

○ 消耗部品の交換時期

・消耗部品の交換は次の項目を参考に行ってください。

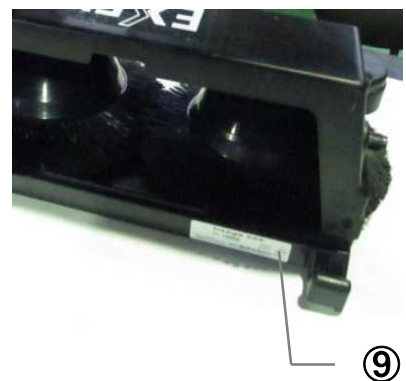
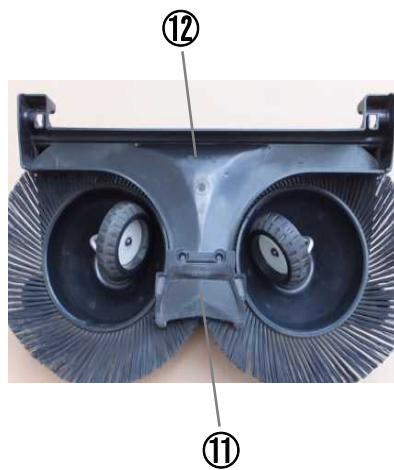
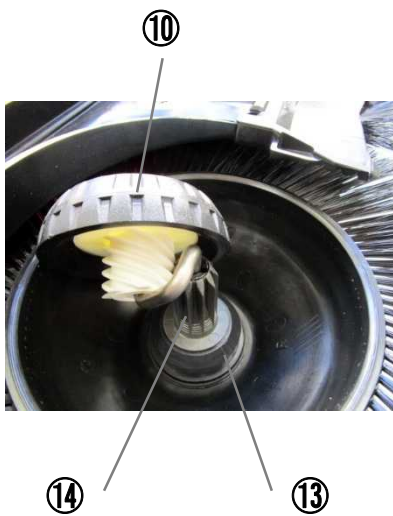
消耗部品	視覚・聴覚による交換時期の判断	交換時期・時間
シールリップダストケース (ES-770A)	摩耗や傷の具合で判断 (視覚)	発見次第
フィルター (ES-770A)	目詰まりを起こすほど汚れが付着した場合 (視覚)	発見次第
ホイール	摩耗具合で判断 (視覚)	発見次第
エンケイブラシ	摩耗具合で判断 (視覚)	発見次第
ケイシャホイール	摩耗や傷の具合で判断 (視覚)	発見次第
スィープリップ	摩耗や傷の具合で判断 (視覚)	発見次第
エッジガイドローラ	摩耗や傷の具合で判断 (視覚)	発見次第

○ 各部の名称

3. 1 構成部品

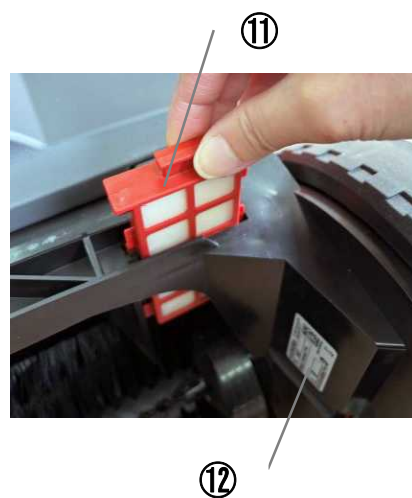
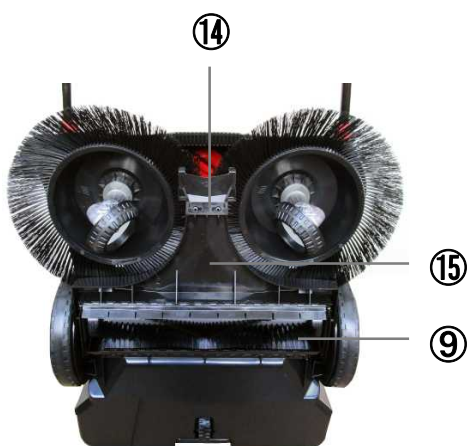
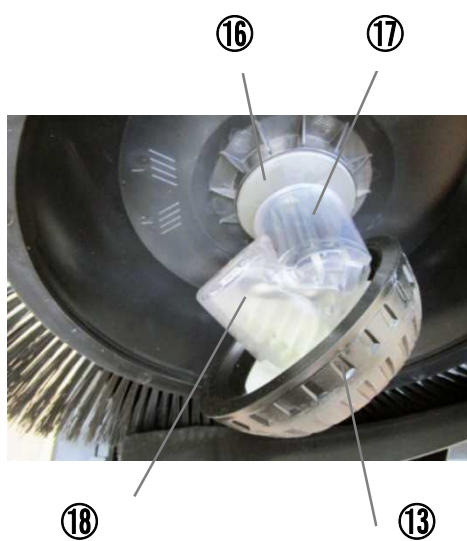
●ES-550

1. ハンドル
2. ダストケース
3. ダストケースハンドル
4. 高さ調整ダイヤル
5. キャリングハンドル
6. 円形ブラシ
7. エッジガイドローラ
8. ホイール
9. シリアル番号
10. 傾斜ホイール
11. スイプリップ
12. スイププレート
13. クラッチ
14. ギヤスリーブ



●ES-770A

1. ハンドル
2. ダストケース
3. ダストケースハンドル
4. 高さ調整ダイヤル
5. キャリングハンドル
6. 円形ブラシ
7. エッジガイドローラ
8. ホイール
9. ブラシロール
10. 据付ブラシ装置
11. フィルター
12. シリアル番号
13. 傾斜ホイール
14. スイプリップ
15. スイププレート
16. クラッチ
17. ギヤスリーブ
18. ギヤ保護具



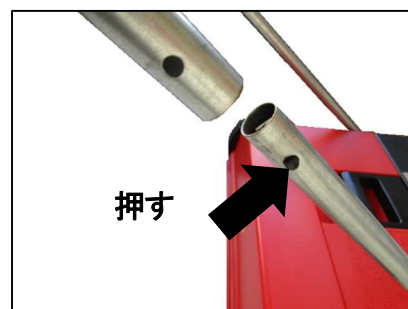
○ 操 作

4.1 ハンドルの取り付け

・ハンドルが倒れて、けがをしないようにしてください。

●ES-550

1. スプリングクリップを押してください。



2. ハンドル仕組品とスプリングクリップが噛み合うまで差し込みます。



3. ハンドル仕組品をフロントカバーの両側のネジに取り付け、締付ネジワッシャとハンドル締付ネジで固定します。



●ES-770A

・ハンドルは、ユーザーの身長に合わせて2段階に調整できます。

1. ハンドルホルダーを円形ブラシの方に傾け、ハウジングの溝に差し込みます。



2. ハンドルホルダーを垂直の位置まで回し、ハンドルの両側にあるロックスプリングを押します。



3. ハンドルをハンドルホルダーに差し込みます。
ハンドルのロックスプリングがハンドルホルダーの穴に噛み合うまで差し込みます。



4. ハンドルホルダーをダストケース側に倒します。



○ スーパーを使う

5.1 使用方法

1. スーパーを確認してください。（「8. 保守および注意」を参照）
2. スーパーを調整してください。（「5.2 スーパーの調整」を参照）
3. 両手でハンドルを操作してください。
4. 通常の歩行速度でスーパーを押してください。
5. 必要に応じてダストケースのゴミを捨ててください。
（「5.3 ダストケースを空にする」を参照）

5.2 スーパーの調整

円形ブラシの高さ調整

注)

- ・円形ブラシを地面に強く押し付けしないでください。
- ・過剰に押し付けても清掃効果が高まるわけではなく、ブラシが摩耗するだけです。
- ・過剰に押し付けると、押し込み抵抗が高くなります。

注)

円形ブラシの高さ調整ダイヤルは、前部分の中央にあります。

高さ調整ダイヤルで円形ブラシの高さを調整し、ゴミの回収調整するものです。

1. 必要なレベルに調整してください。（【 】内は、ES-770Aのレベルを表します。）
 - ・レベル1-2【1-2】：平らで硬い表面向き。
（例：アスファルト、コンクリートスラブ、床タイル）
 - ・レベル3-4【3-4】：ぬれた落ち葉、砂、水平の床向き。
（例：洗浄したコンクリートスラブ、むき出しの骨材コンクリートタイル）
 - ・レベル5-8【5-6】：表面が非常に凸凹である。
2. 上記を参考に高さ調節ダイヤルをお好みの位置にセットしてください。
通常はレベル1-4【1-4】で使用し、ゴミの回収が悪くなったら1段ずつ上げてください。
ゴミの回収ができなくなった場合は、部品の交換が必要です。

3. 円形ブラシの高さ調整ダイヤルを矢印の方向に回すと、円形ブラシの高さは低くなります。
(床との接触量が増えます。)
- 円形ブラシの高さ調整ダイヤルを矢印と反対側に回すと、円形ブラシの高さは高くなります。
(床との接触量が減ります。)

●ES-550



●ES-770A



据付ブラシ装置の調整 (ES-770A)

注)

据付ブラシ装置で円形ブラシを調整して隅を掃除できます。

(壁および縁石など)

調整が低すぎると、過度の磨耗が発生する可能性があります。

据付ブラシ装置を地面にこすらないでください。



5.3 ダストケースを空にする

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。
- ・ほこりが舞い上がらないように、可能であれば屋外でダストケースのゴミを捨ててください。
- ・防じんマスクを着用してください。

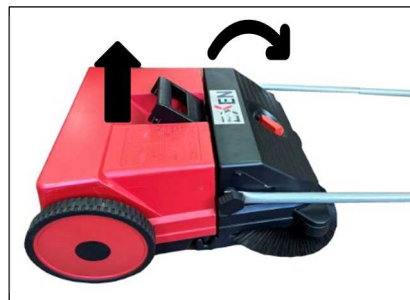
注)

使用後はゴミを捨ててから保管してください。

性能を維持するために、定期的にダストケースのゴミを捨ててください。

●ES-550

1. ハンドルを平らになるように円形ブラシ側に折りたたみ、ダストケースのハンドルを引き上げてください。



2. ダストケースを取りはずし、回収したゴミを捨ててください。



3. ダストケースの合わせ部分が汚れていないことを確認してください。

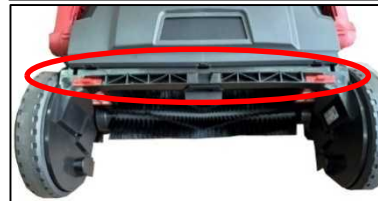


4. ダストケースを取り付け、ダストケースのハンドルを押し下げます。
その後、ハンドルを操作位置に戻します。



●ES-770A

1. ハンドルを平らになるように円形ブラシ側に折りたたんでください。
2. ダストケースのハンドルを持って引き上げてください。
3. ダストケースを取りはずし、回収したゴミを捨ててください。
4. ダストケースの合わせ部分が汚れていないことを確認してください。
5. ダストケースを取り付け、ダストケースのハンドルを押し下げます。
その後、ハンドルを操作位置に戻します。



5.4 スーパーの掃除

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なものの負傷を防ぐために、安全手袋を着用してください。



注 意

不適切な清掃によるスーパーへの損傷。

- ・スーパーを清掃してほこりや汚れを取り除いてください。
 - ・清掃を行うためにグリス除去剤を使用しないでください。
 - ・強力な洗浄剤は使用しないでください。
 - ・高圧洗浄機を使用しないでください。部品を破損する恐れがあります。
 - ・水分からベアリングを保護してください。(E S - 7 7 0 A)
 - ・湿らせた布などでプラスチック部品をふいてください。
 - ・絶対にグリスや潤滑剤など塗布しないでください。
- ほこりやゴミがグリスや潤滑油に付着し、部品の磨耗を引き起こす可能性があります。
- ・使用後は清掃を行ってください。

1. ハンドルを円形ブラシ側に折りたたみ、スィーパーを縦置きにします。

「7. 2 スィーパーの保管」を参照してください。

ES-550はフックなどに吊り下げて保管してください。



2. 円形ブラシとブラシロールの汚れを取り除いてください。

ひも状のゴミが絡まっていたり、石や小枝などが詰まったりしている場合は、手で取り除いてください。

また、円形ブラシとブラシロールを水拭きし、よく乾かしてください。



3. プラスチックの部品を水拭きしてください。

4. フィルターを水で洗浄してください。(ES-770A)

「8.2 フィルターの掃除」を参照してください。



○ 運 搬

6.1 スーパーを運ぶ

- ・ユーザーがけがをしないように、スーパーをしっかりと持ってください。
- ・ダストケースのハンドルを持って、スーパーを運ばないでください。

注)

キャリングハンドルを持って運んでください。

スーパーを落とさないでください。

1. ハンドルを前方へ折りたたんで平らにしてください。



2. キャリングハンドルを持ってスーパーを持ち上げ、円形ブラシが外側になるように運んでください。



6.2 車両を使ってスーパーを運搬する

⚠ 注 意

不適切な運搬によるスーパーへの損傷。

- ・円形ブラシの毛先が曲がらないようにスーパーを置いてください。
- ・スーパーが倒れたり落下したりしないように固定してください。
- ・固定ストラップを使用して、スーパーが滑らないようにしてください。

1. ハンドルを取りはずしてください。
(「7.1 ハンドルの取りはずし」を参照)
2. スーパーを車両に乗せてください。
3. 固定ストラップでスーパーを固定してください。

○ ハンドルの取りはずしと保管

7.1 ハンドルの取りはずし

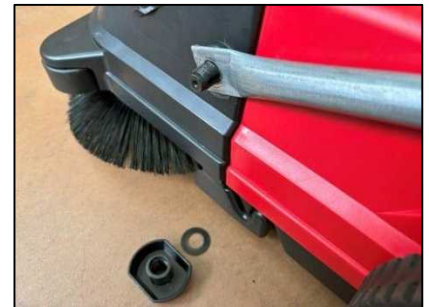
- ・ハンドルを倒して、けがをしないようにしてください。

注)

車両で運搬時に省スペース化するため、ハンドルをスイーパーから取りはずすことができます。

●ES-550

1. ハンドル締付ネジと締付ネジワッシャを緩めて取りはずしてください。
2. ハンドル仕組品を外側に広げて、ハンドルを外します。
3. ハンドル締付ネジと締付ネジワッシャが、紛失しないようにネジ部に仮止めしてください。



●ES-770A

1. ハンドルホルダーを垂直の位置まで回します。



2. ハンドルの両側にあるロックスプリングを押します。



3. ハンドルを外します。



4. ハンドルホルダーを円形ブラシ側に倒します。



5. ハンドルホルダーを外側に引っ張り、外します。



7.2 スーパーの保管

⚠ 注意

不適切な保管によるスーパーへの損傷。

- ・ブラシの毛が曲がらないようにスーパーを置いてください。
- ・倒れたり落下したりしないようにスーパーを固定してください。
- ・屋根のある場所に保管してください。
- ・湿気の多い場所に保管しないでください。
- ・直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ・火気、ファンヒーター、ストーブ、その他の放熱設備などの熱源の近くに保管しないでください。

注)

- ・保管する前にダストケースのゴミを捨ててください。
(「5.3 ダストケースを空にする」を参照)
- ・保管時、ハンドルやスーパー本体が転倒しないように確実に固定してください。
- ・省スペース保管：縦置き保管してください。

ES-770Aは縦置きができますが、ES-550は縦置きできません。

フックなどに吊り下げて保管してください。

(保管時の負荷に十分に耐えられるか、確認してください)

- ・使用後は必ず掃除して保管してください。

(「5.4 スーパーの掃除」を参照)

ES-550



ES-770A



○ 保守および注意

注 意

不適切な保守によるスリーパーへの損傷。

- ・スリーパーを定期的に保守してください。
- ・この取扱説明書に記載されている保守と修理のみ実施してください。
- ・修理やオーバーホールする場合は、最寄りの支店・営業所にお申し付けください。
- ・純正部品以外は使用しないでください。事故や損傷の原因となります。
- ・ご不明な点がございましたら、販売店または最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

8.1 定期保守

8.1.1 運転準備

スリーパーの状態を確認してください。

ハンドルがスリーパー本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。

ダストケースの状態を確認し、しっかり取り付けられていることを確認してください。

円形ブラシとブラシロールに汚れがないか確認し、ブラシがスムーズに動くことを確認してください。

必要に応じて円形ブラシとブラシロールの汚れを取り除いてください。

円形ブラシの高さ調整を確認し、清掃面との高さを調整してください。

(「5.2 スリーパーの調整」を参照)

高さ調整ダイヤルを確認してください。

清掃面に合わせて高さを調整してください。

ハンドルの汚れなどは落としてください。

スリーパーに破損や亀裂、変形がないか確認し、必要に応じて販売店または最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

8.1.2 作業終了後

フィルターを掃除してください。(「8.2 フィルターの掃除」を参照)

スリーパーを掃除してください。(「5.4 スリーパーの掃除」を参照)

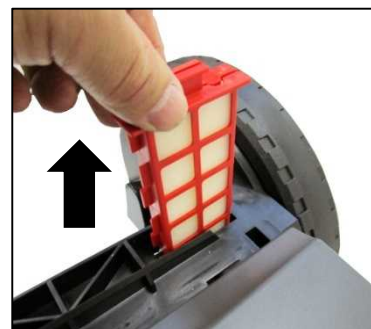
8.1.3 運転のたびに掃除

円形ブラシやブラシロールを掃除してください。(「5.4 スリーパーの掃除」を参照)

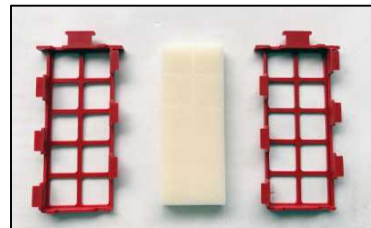
8.2 フィルターの掃除 (ES-770A)

- ・フィルターフレームを正しくセットしてください。
取りはずしたまま使用しないでください。
- ・また、フィルターフレームが破損したり、フィルターがぬれたまま使用しないでください。
- ・フィルターは定期的に掃除してください。

1. ダストケースを外し、フィルターフレームをガイドから引き出してください。



2. フィルターフレームからフィルターを取り外し、水ですすぎます。
その後、十分に乾かしてからフィルターフレームを取り付けてください。



3. 両方のフィルターフレームをガイドに取り付けてください。



4. ダストケースを取り付けてください。



8.3 閉塞を取り除く

- ・ガラスの破片、金属片または鋭利なもので手を切らないように、安全手袋を着用してください。
- 1. ブラシと軸に巻き付いたロープやひも状のゴミを取り除いてください。
- 2. 詰まっているものを取り除いてください。(石、小枝など)

8.4 スイーパーの清掃

注 意

- ・不適切な潤滑剤によるスイーパーへの損傷。
- ・オイルやグリスの使用は、円形ブラシやブラシロールの機能を損なう可能性があります。
- 1. スイーパーの汚れを落とすには、湿らせた布などでふいてください。

8.5 ブラシの毛をまっすぐにする 引火の恐れあり

- ・ブラシの毛を温めるために裸火やバーナを使用しないでください。
- ・ヒートガンは使用しないでください。過度な温風を当てるとブラシが溶ける可能性があります。

注)

曲がってしまったブラシの毛は、熱風送風機で再度温めることでまっすぐにすることができます。

熱風送風機（ヘアドライヤー）を使用してブラシの毛を温めてください。

曲がったブラシの毛がまっすぐになります。

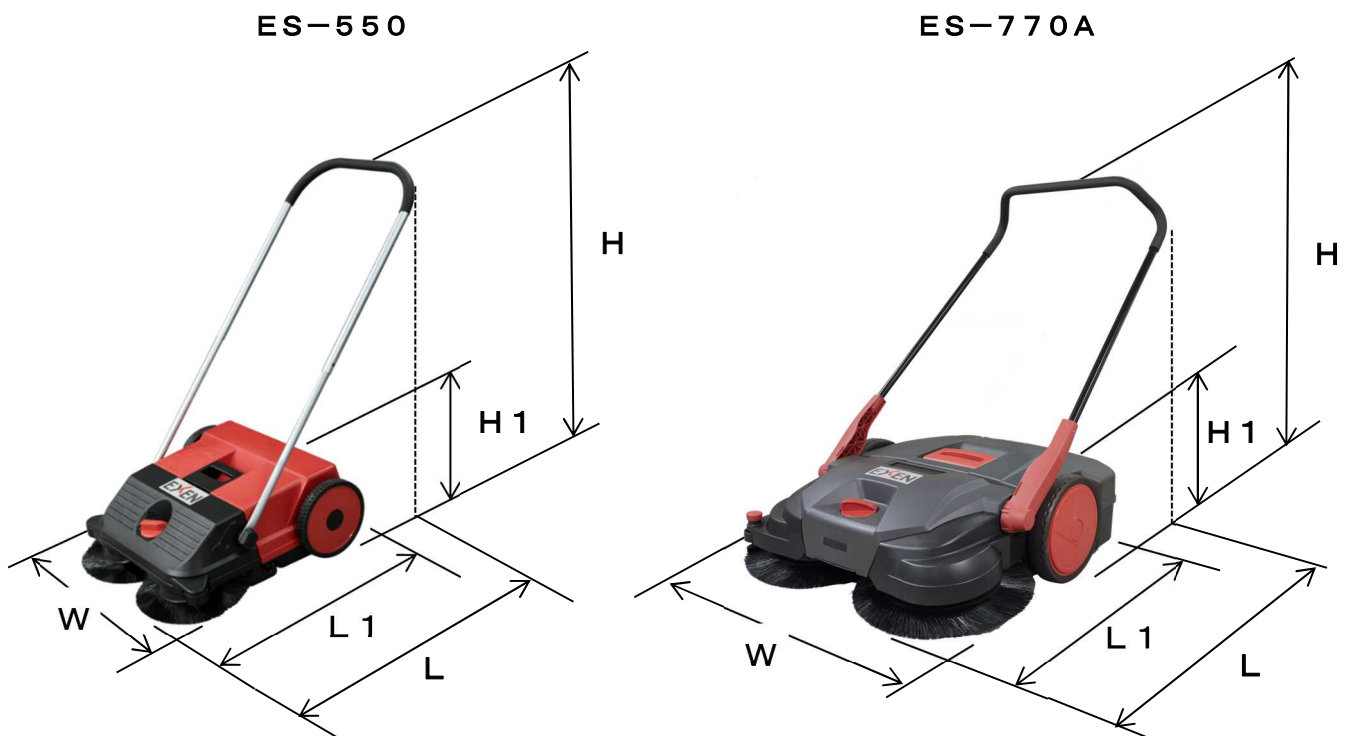


○ 仕様・製品寸法

■ 仕様

型 式	ES-550	ES-770A
清掃幅 (mm)	550	770
清掃能力 (m ² /h) (3.5 km/hの場合)	1,920	2,690
ダストケース容量 (ℓ)	25	40
本体寸法 (使用時) (mm)	850 (L) × 550 (W) × 950 (H)	1050 (L) × 800 (W) × 1075 (H)
ボディサイズ (mm)	590 (L1) × 220 (H1)	810 (L1) × 290 (H1)
質 量 (kg)	6.0	15.0

■ 製品寸法図



○ トラブルシューティング

現 象	原 因	対 策
スリーパー動きが鈍い スムーズに動かない	スリーパーの汚れ	スリーパーを掃除してください 「5.4 スリーパーの掃除」を参照
	ブラシの詰まり	詰まりを取り除いてください 「8.3 閉塞を取り除く」を参照
	円形ブラシやブラシロールの汚れ	円形ブラシやブラシロールを掃除してください 「5.4 スリーパーの掃除」を参照
	円形ブラシの高さ調整が低すぎる 円形ブラシの高さ調整が高すぎる	円形ブラシの高さを調整してください 「5.2 スリーパーの調整」を参照
	円形ブラシが回転しない	円形ブラシ内にある傾斜ホイールを点検してください
ブラシの毛が曲がる	不適切な保管	ブラシをまっすぐにしてください 「8.5 ブラシの毛をまっすぐにする」を参照
十分に清掃ができない	スリープリップがなくなっている スリープリップが緩んでいる スリープリップがひどく摩耗している	スリープリップを交換してください
	円形ブラシの接地圧が高すぎる	円形ブラシの高さ調整をしてください。 「5.2 スリーパーの調整」を参照
	円形ブラシの激しい摩耗	円形ブラシの交換
	ダストボックスの容量がいっぱい	ダストケースを空にしてください 「5.3 ダストケースを空にする」を参照



本社 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-17-13
草加工場 〒340-0003 草加市稲荷 5-26-1

Tel 03-3434-8455 FAX 03-3434-1658
Tel 048-931-1111 FAX 048-935-4473

<https://www.exen.co.jp/>